

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和2年8月20日(2020.8.20)

【公開番号】特開2020-92861(P2020-92861A)

【公開日】令和2年6月18日(2020.6.18)

【年通号数】公開・登録公報2020-024

【出願番号】特願2018-233097(P2018-233097)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 0 4 D

【手続補正書】

【提出日】令和2年7月3日(2020.7.3)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

可変表示を行う遊技機であって、
遊技者の動作を検出可能の検出手段と、
発光可能な発光手段と、

前記検出手段の検出結果にもとづいて、前記発光手段の輝度に関する設定が可能な輝度設定手段と、

可変表示に対応した特定表示を表示可能な表示手段と、を備え、

前記輝度設定手段は、前記輝度に関する設定として、少なくとも第1輝度設定と該第1輝度設定よりも輝度が高い第2輝度設定と、に設定可能であり、

前記表示手段は、前記第1輝度設定に設定されているときと、前記第2輝度設定に設定されているときとで、異なる大きさで前記特定表示を表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

可変表示を行う遊技機であって、
遊技者の動作を検出可能の検出手段と、
音を出力可能な出力手段と、

前記検出手段の検出結果にもとづいて、前記出力手段が output する音の音量に関する設定が可能な音量設定手段と、

可変表示に対応した特定表示を表示可能な表示手段と、を備え、

前記音量設定手段は、前記音量に関する設定として、少なくとも第1音量設定と該第1音量設定よりも音量が大きい第2音量設定と、に設定可能であり、

前記表示手段は、前記第1音量設定に設定されているときと、前記第2音量設定に設定されているときとで、異なる大きさで前記特定表示を表示可能である

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】**【0006】**

(A) 上記目的を達成するため、本願発明の一態様に係る遊技機は、可変表示を行う遊技機であって、遊技者の動作を検出可能の検出手段と、発光可能な発光手段と、前記検出手段の検出結果にもとづいて、前記発光手段の輝度に関する設定が可能な輝度設定手段と、可変表示に対応した特定表示を表示可能な表示手段と、を備え、前記輝度設定手段は、前記輝度に関する設定として、少なくとも第1輝度設定と該第1輝度設定よりも輝度が高い第2輝度設定と、に設定可能であり、前記表示手段は、前記第1輝度設定に設定されているときと、前記第2輝度設定に設定されているときとで、異なる大きさで前記特定表示を表示可能である。

(1) 上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、可変表示を行う遊技機（例えば、パチンコ遊技機1、スロット機等）であって、遊技者の動作を検出可能の検出手段（例えば、輝度調整ボタン）と、発光可能な発光手段（例えば、遊技効果ランプ9、21SH9M、21SH9LH、21SH9LM、21SH9LL、21SH9RH、21SH9RM、21SH9RL等）と、前記検出手段の検出結果にもとづいて、前記発光手段の輝度に関する設定が可能な輝度設定手段（例えば、図8-8のステップ21SH130の処理、図8-8のステップ21SH430の処理等）と、可変表示に対応した特定表示（例えば、図8-7や図8-22に示すように変動パターンに対応した暗転演出における視認可能範囲に相当する表示等）を表示可能な表示手段（例えば、図8-9のステップ21SHS211の処理、図8-24のステップ21SHS511の処理等）と、を備え、前記輝度設定手段は、前記輝度に関する設定として、少なくとも第1輝度設定と該第1輝度設定よりも輝度が高い第2輝度設定と、に設定可能（例えば、図8-4(B)の如く、輝度設定値「1」～「5」のいずれかに設定可能）であり、前記表示手段は、前記第1輝度設定に設定されているときと、前記第2輝度設定に設定されているときとで、異なる表示態様で前記特定表示を表示可能（例えば、図8-4、図8-5、図8-26～図8-27等参照）である。

【手続補正3】**【補正対象書類名】明細書****【補正対象項目名】0008****【補正方法】変更****【補正の内容】****【0008】**

(B) 上記目的を達成するため、本願発明の他の態様に係る遊技機は、可変表示を行う遊技機であって、遊技者の動作を検出可能の検出手段と、音を出力可能な出力手段と、前記検出手段の検出結果にもとづいて、前記出力手段が出力する音の音量に関する設定が可能な音量設定手段と、可変表示に対応した特定表示を表示可能な表示手段と、を備え、前記音量設定手段は、前記音量に関する設定として、少なくとも第1音量設定と該第1音量設定よりも音量が大きい第2音量設定と、に設定可能であり、前記表示手段は、前記第1音量設定に設定されているときと、前記第2音量設定に設定されているときとで、異なる大きさで前記特定表示を表示可能である。

(2) 上記目的を達成するため、他の態様に係る遊技機は、可変表示を行う遊技機であって、遊技者の動作を検出可能の検出手段（例えば、音量調整ボタン等）と、音を出力可能な出力手段（例えば、スピーカ8L、8R等）と、前記検出手段の検出結果にもとづいて、前記出力手段が出力する音の音量に関する設定が可能な音量設定手段（例えば、図8-32のステップ21SH630の処理等）と、可変表示に対応した特定表示（例えば、図8-31に示すように変動パターンに対応した音声可視化演出における音声文字表示等）を表示可能な表示手段（例えば、図8-33のステップ21SHS711の処理等）と、を備え、前記音量設定手段は、前記音量に関する設定として、少なくとも第1音量設定と該第1音量設定よりも音量が大きい第2音量設定と、に設定可能（例えば、図8-29(B)の如く、音量設定値「1」～「5」のいずれかに設定可能）であり、前記表示手段は

、前記第1音量設定に設定されているときと、前記第2音量設定に設定されているときとで、異なる表示態様で前記特定表示を表示可能（例えば、図8-29、図8-30等参照）である。